

第3学期終業式式辞（令和6年3月20日）

皆さん、おはようございます。今日は各学年の区切りの日です。各自、1年間を振り返って、成長した点、反省点、そして、今後、目標に向かってどのように取り組んでいきたいか、先生方や友人、家族の話も聞きながら、自分なりに考える、そんなきっかけにしてください。

今日は、3学期の終業式に当たって、学校生活に関わる二つのこととお話します。

一つ目は、朝の読書のことです。朝の読書は、気持ちを落ち着けて授業ができる雰囲気づくり、若者の読書離れ防止、いろいろな意味で非常に効果的な取組で、今は、愛媛県のほとんどの中学校や高校で取り入れられています。実は、愛媛県の県立高校の朝の読書は、松山東高校がきっかけで広がっていきましました。今から20年ほど前、どの高校も朝読のことは知ってはいましたが、実施はしていませんでした。松山東高校が始めたところ、一挙に広まっていったのです。授業に真剣に取り組む松山東高がするのだから、いわんや我が校をや…、ということなのだろうと思います。みんなで読む、毎朝読む、ただ読むだけ、そして、学期に一度読み聞かせがある、本校の取組は、すばらしいと思っています。

2学期の終業式の日、「時間を守る、時間を管理する」ことの大切さを話しました。さすが東高生で、3学期、ずいぶん遅刻が減りました。一度、雨の日の全校集会の集まりについて注意を受けましたが、その後の壮行会は、時間どおりに始まりました。意識してくれたら、時間の管理はできる生徒ばかりです。自転車マナーアップ活動だった先週の金曜日、校門に立っておりましたら、4人の生徒が自転車で慌てて登校していて、その生徒には、声をかけました。朝読には間に合わなかったと思います。朝読で、心の余裕をもって、その日の授業に備えられるよう、新年度、よい見本を1年生に見せてほしい、時間の管理に加えて、東高から始まった朝の読書の時間を大切にしてほしいと思います。

もう一つの話。「大地の花束」という動画があります。このタイトルだけでは想像できないかもしれませんが、「大地の花束」は、自転車事故に関する動画です。

今から10年前、2014年の12月、松山地域の高校1年生が、登校しているときに、トラックにはねられ、頭を強く打って尊い命を失った、それが大地という名前の生徒さんでした。大地さんは生前、お母さんの誕生日にプレゼントをするために、折紙で花をたくさん作っていて、机の引き出しの中にその折紙の花束が用意されていたのです。大地さんのお父さんは、車を運転する人に向けて、二度とこのような事故を起こしてほしくない、自分のような思いをする人を出したくない、という思いを込めて作った動画が「大地の花束」です。

その事故の9か月前、2014年の3月1日、卒業式の日、松山市内の高校3年生が、登校中にトラックにはねられ、卒業するその日に命が奪われてしまいました。そうした出来事が重なって、学校、生徒、PTA、教育委員会、みんなが一丸となって、高校生の命を守ることにについて協議しました。当時、各校から生徒の代表が集まって、どんなヘルメットなら身に付けやすいか見栄えも含めて、話し合ったのです。そして翌2015年の7月から、ヘルメットの着用が義務化されました。愛媛の高校生のヘルメット着用には、そのような歴史があるのです。それを知った上で、改めて、自分の命を守ること、ヘルメットの持つ意味について考えてみてください。

私も時々、ヘルメットをかぶって自転車で通勤しています。東高に来る朝の道は車が多いし、狭いし、危ないなあと思いつつながら自転車をこいでいます。また、車で通勤する日は、自転車の高校生がはみ出してこないか、ふらつかないだろうか、注意しながら運転しています。どうか、皆さん、安全運転で、時間に余裕を持って登校してください。そうすれば、朝の読書の時間も充実したものになります。春休み、「大地の花束」で検索し、動画を見てみてください。心打たれる動画です。

最後に、改めて、今日は学年の区切りの日、次の学年の目標、学習も部活動も、それぞれの目標に向けて、いいステップを踏み出しましょう。いい顔で、次の学年が迎えられることを願っています。

以上で、式辞を終わります。